

# OUR HOSPITAL



# くりはし

発行日:2011.1.4 No.42



『スネガ付近、ライゼーからのマッターホルン』

## 目次

済生会100周年を迎える年に .....	2p
床ずれ(褥瘡)のお話 .....	3p
Information News / 「厚生労働大臣表彰」を受賞 .....	4p
さいくりHP物語 .....	4p



新しい済生会栗橋病院のマークです。心をイメージしております。

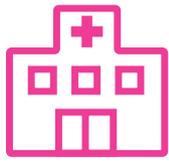


済生会栗橋病院のキャラクター「ココロん(左)」と「医療戦隊 なでしこレンジャー(右)」です。

院 是



先端医療の進歩が一段と加速するであろう21世紀において  
医療に従事するものにとって失うことの許されない最も大切なものと考えます。



# 栗橋病院から皆様へ

## 済生会 100 周年を迎える年に



病院長 遠藤康弘

新年明けましておめでとうございます。

さて昨年の思い出深い出来事として、6月に長妻厚生労働大臣(当時)の視察がありました。これは医療クラークという勤務医をサポートする事務職員の導入を全国的にも先駆けて行い、その効果を発揮しているとの評価を得て実現したものです。

一方で、今年実行される取り組みの代表的なものは、3月から導入する電子カルテと9月オープン予定の地域救急センター開設です。

前者は院内の他職種に及ぶ診療情報の共有化が進み、チーム医療がより一層推進できることを期待しているところです。導入直後には一

時的な混乱もあるかもしれませんが、最小限に止めるよう万全を期して臨んでいるところであります。

後者については、地域の急性期病院として、診療機能や特性を活かした高度で良質な救急医療を提供するため、集中治療室を8床から20床へ増床します。すでに本館の北側の敷地で予備工事が開始されております。工事期間中は騒音など発生しますが、ご了承ください。

そして、今年の最大のトピックスは、済生会が100周年を迎えることです(図1:100周年ロゴ)。現在、全国各地に80の病院を含む376施設があり、職員数も全国で4万9千人に及び、国内でも有数の医療・福祉施設となっております。開設の主旨は生活困窮者のための医療を提供する事業であり、100年の歴史を経過した現在でもなお重要な課題となっております。当院の役割の原点を見据えながら、今後も、この地域で信頼される先導的な病院への発展を目指していきたいと考えております。

最後になりますが、当院の理念や取り組みを幅広い人々に広報する活動の一つとして、当院のロゴマークとキャラクターを全国的に募集したところ、多くの作品が届けられ、採用したものをこの紙面で紹介します。

初めにロゴマークです(図2)。済生会の「S」ならびに栗橋の「K」を合体させて、院是でもある「心」を作り、さらには人が人を抱きかかえているように表現され、我々が提供する癒し安らぎのある「心のこもった医療」をイメージしています。

次にキャラクターですが、一つは「こころん」(図3)です。栗橋の「栗」をモチーフにかわいらしくイメージしており、あちこちで評判となっております。同じくキャラクターとして「医療戦隊 なでしこレンジャー」(図4)ドックレッド・ナースピンク・イエロー・コメディ・ブルー・ヤック・グリーンジム、この5人が院内の全ての人を守ります。5人の体の文字で「SAISEIKAI(済生会)」を表すように文字を配置しています。

新たに設けたロゴマークやキャラクターも含めて、新年もよろしくお願ひ申し上げます。そして、新しい年が皆様にとって良い年になることを心からお祈りします。



図1



図2

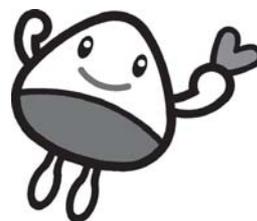


図3



図4

# じょくそう 床ずれ(褥瘡)のお話



皮膚・排泄ケア認定看護師  
中條 薫(外来)

今回は、認定看護師の紹介をさせていただきました。今回は床ずれ(褥瘡)について簡単にお話しします。病院ではオムツを使って排泄している方の多くが、何らかのスキントラブルを経験しています。そこで、排尿や排便のコントロールも含めた、皮膚全般を専門にケアする看護師として皮膚・排泄ケア認定看護師が誕生しました。

さて、日々私がどんな仕事をしているのかと言うと、病棟には属せずフリーで活動し、主に病棟・外来で床ずれ(褥瘡)に関する相談やケアを実施しています。

以前は創を乾燥させて、かさぶたをつくって治していましたが、最近の創管理は消毒をせず、創を石鹼とシャワーで洗い流し、創が乾燥しないように創傷被服材(余分な浸出液を吸い、創を良い状態に保つシート)を使用します。傷は、乾燥させるより湿潤な環境の方が、早く回復することが解ってきました。その他にもいろいろな創の治し方が発明され、今年からは、今までとは違った方法で、深い創を吸引しながら回復させていく方法が誕生しました。これからも、創傷管理は変化を遂げていくと思います。しかし、本来ならば、そのような床ずれ(褥瘡)をつくらないように予防することが大切です。

人間は、皮膚に体を守ってもらっています。皮膚がなくなると、人間は生きてはいけません。転んで怪我をすると、皆さんはどうされていますか？ バイ菌が入らないように創部をきれいにしますよね。それとおなじように皮膚を健康に保つことは、いろいろな病原菌から自分を守ることにつながるのです。創をつくらないために、皮膚の保湿に心がけることや体重が分散されるような弾力性のある寝具を選択されると良いでしょう。





## 優良特定給食施設として 「厚生労働大臣表彰」を受賞しました

この度、平成22年度全国栄養改善大会（さいたま市）において、去る9月9日に優良特定給食施設として厚生労働大臣表彰を受賞致しました。平成14年度の知事表彰から早くも8年の月日が経ち、今回管轄の幸手保健所より厚生労働大臣表彰の推薦を頂きました。

今回の表彰はスタッフ一同、驚きと嬉しさを共有した次第です。この名誉ある表彰は、過去の先輩方の実績や治療の土台となる適切な栄養管理を行うため、スタッフ一丸となって日々励んできたことが評価された証しだと考えています。また、多くの方々に支えて頂きこの場をおかりして感謝申し上げます。当院では、多職種連携によるチーム医療で患者さんの栄養管理を実施しています。これを励みに今後も安全で安心な食事の提供及び栄養管理ができますよう、スタッフ共々努めていきたいと思っております。

推薦基準・・・特定給食施設として10年以上の実績を有し、給食の管理運営が特に優秀であり、喫食者の栄養指導や調査研究の結果等が栄養改善に結びついていること、栄養改善のための効果が顕著で過去に知事表彰を受けたことがあることなどで、他の模範とすべき施設に対し授与されるものです。

栄養科 伊藤佳代子



### さいくりHP物語 作画 ゴンパチ



#### ○患者様の権利

1. 人格を尊重される権利  
人 権
2. 適切な医療を平等に受ける権利  
平 等 権
3. 医療上の情報を知る権利  
知 る 権 利
4. 医療上の行為を選択できる権利  
選 択 権
5. プライバシーを保護される権利  
保 護 権

#### ○理念

私達は、職務の尊さと責任の重さを自戒し、人格の向上につとめ、奉仕の精神に徹し、地域住民及び患者様に「心のかもった医療」を提供し続けます。

#### ○基本方針—人生明るく、地域への貢献—

1. 人権尊重と情報公開  
私達は、患者様のお気持ちを尊重し、納得戴いた上での診療を実践します。
2. 生涯学習と最新医療  
私達は、生涯学習の精神を旨とし、常に医療の質の向上につとめます。
3. 明るく健康な環境作り  
私達は、明るく健康な医療環境を保持することにつとめます。
4. 地域社会への貢献  
私達は、患者様の要望にに対し、医療を通して地域社会の発展に貢献します。

〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門714-6  
発行□ 済生会栗橋病院 TEL:0480-52-3611 FAX:0480-52-0954  
<http://www.saikuri.org/> E-Mail [saikuri@saikuri.org](mailto:saikuri@saikuri.org)

受付時間□月～金 8:00～11:30 予約診療の方は8:00～16:30  
※診療科により異なりますので、各科の診療日程表をご覧ください。

休 診 日□土曜日・日曜日・祝祭日 開院記念日(7月1日)  
年未年始(12月29日～1月3日)

面会時間□12:00～20:00

休診日・夜間の□休診日・夜間は救急対応となります。受診に際しては、  
診療体制 事前に電話でご確認ください。

診 療 科□内科、循環器科、小児科、外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、  
皮膚科、整形外科、放射線科、麻酔科



〈発行人〉遠藤康弘  
〈編集委員〉木村純夫、川上光子、阿波根昌和、横井 博、関口久男、石田泰樹、早川真司、  
篠原 聡、深谷里子、宮内雅弘